



東京三栄会 文化交流委員会 社会貢献活動

盲導犬募金にぜひ協力お願いします！

東京三栄会文化交流委員会では社会貢献活動の一環として恒例の日本盲導犬協会への募金キャンペーンを昨年一二月より今月末迄開催しております。昨年一月、それに先立ち同委員会委員が神奈川県盲導犬訓練センターを訪問しましたので、広報委員も同行し、日本盲導犬協会の活動について取材致しました。

私たちの募金は盲導犬給付事業に活用されます。盲導犬給付事業とは、盲導犬を育成して、視覚障害者の方々に提供するのみではありません。実に多岐にわたります。犬の繁殖に始まり、パピーウォーカーに一歳までの飼育を依頼します。そして、一歳を過ぎた犬を約一年間、盲導犬として訓練します。訓練を終えた後は、視覚障害者の訓練が始まります。盲導犬との共同生活のために視覚障害者が

学ぶことがたくさんあるのです。訓練センターにて二週間、視覚障害者の自宅にて二週間、合計四週間の訓練です。訓練センターに宿泊する間の生活費等経費は、全て盲導犬協会の負担です。また、視覚障害者宅の二週間は、遠方の方の場合、全期間協会担当者が向いて指導します。その経費も全額協会の負担です。

訓練の全てを終えて視覚障害者に盲導犬が届いた後も、盲導犬の医療費・生活費は協会の負担。また一〇年でほとんどの盲導犬は引退し、引退犬は協会の老犬棟で余生を送るかボランティアに引き取られますが、引退後の医療費も、協会が負担することがあります。このように、一頭の盲導犬を育成し引退後最期まで面倒を見るのに四五〇万円程度必要と言われています。(表1：盲導犬を支える愛)

のバトンリレー) 盲導犬協会が一番大切にしていることは「視覚障害者の社会参加」。視覚障害

表1：盲導犬を支える愛のバトンリレー

繁殖犬飼育ボランティア	誕生～生後2カ月
パピーウォーカー (子犬飼育ボランティア)	生後2カ月～1歳
盲導犬訓練士	1歳～約2歳
盲導犬ユーザー	約2歳～10歳
引退犬飼育ボランティア	約10歳～最後まで

者の方々の中には、失明と同時に失業されるケースもあります。盲導犬を持つことが、経済的負担であったりはならないようにしなければなりません。また印象深かったのは、ある視覚障害者の方が「盲導犬が来てから、喜びは二倍になり、辛さは半分になった」と仰っていたこと。盲導犬の存在は介助のみならず心の拠り所にもなるのです。



盲導犬訓練風景



訓練センターを訪問した文化交流委員

金も労力もかかりません。しかしながら、協会の運営資金は、九五％が民間からの寄付に頼っているのが実情です。そして、パピーウォーカーの存在、訓練センターにおける飼育、視覚障害者の訓練の介助など、ボランテ



仲良し盲導犬(2頭)「ご支援お願いします！」

ィアに頼る部分が大いのです。世間の理解があつてこそ、盲導犬を増やすことが可能になります。それは一般の寄付であり、ボランティアの参加であり、あらゆる理解と支援です。ほんの気持ちで構いません！募金キャンペーンの締切は今月末です。三栄会の皆様にもご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

問合せ先：三井石油開発(株) 業務部
佐竹直子 〇三二五〇二一五七七
satake_naoko@moeco.co.jp
(広報委員)物産機械情報サービス：天野、三井製糖：大久保

三栄会 第三回 「森林フェスタ」開催



森林フェスタ参加の皆さん

二月二三日(土)「第三回森林フェスタ」が開催されました。回を重ねるごとに進化する森林フェスタです。第三回目の今回は現在キャンペーン中の盲導犬募金に協力し、「盲導犬チャリティ」として開催、参加費用を今までの無料から「中学生以上一人一、〇〇〇円以上」とし、



日本盲導犬協会に寄付贈呈

収益金はすべて日本盲導犬協会に寄付するものです。また、出発前の時間を利用して「盲導犬と触れ合う会」も同時に企画いたしました。さて、当日七時四十分。この冬の一番の寒さといえ、参加者の心がけの良さから晴天となった大手町三井物産ビルのカルガモ広場では、盲導犬協会からはせ参じた盲導犬ハッピーとの交流が始まりました。通常、仕事中に盲導犬の頭をなでたりすることは禁止ですが、今日は違います。小さな参加者たちはハッピーを抱きついたり、頭をなでたりして大騒ぎです。また同協会の方への質問も多



盲導犬ハッピーとの交流

く、盲導犬育成の大変さや訓練の内容などの普通では聞けない説明を聞き入っていました。盲導犬に対する関心が予想以上に高かったことに、スタッフ一同そつと胸をなでおろした次第です。その後、私たちは参加者とスタッフ分を合わせた収益金四二、〇〇〇円を贈呈し、ハッピーに見送られながら千葉亀山の三井物産社有林へゴー！

開催内容は前回とほぼ同じですが、バスの中での基礎知識のお勉強やクイズなどを楽しんでいるうちに予定どおり一〇時過ぎに現地に着。自然観察や間伐体験で思い切りマイナスイオンを吸収した後は午後二時から超目玉のバーベキュー大会開始。三歳から六三歳までの幅広い参加者全員が重労働の後のバーベキューや豚汁、ワインなどを楽しみ懇親を深めました。その後は全員で最後の共同作業「後片付け」。予定時間を少々オーバーしてしまいましたが、朝から続いている共同作業を皆さんあつという間に片付け終了。午後五時、無事に帰路につきました。(文化交流委員／三井物産フォレスト・服部)



エームサービス(株)／33 All Stars



JA三井リース(株)／JA三井リース サッカー部



アラマークユニフォームサービスジャパン(株)／ARAMARK USJ

白熱した優勝争いを制し、エームサービス優勝

第二回スポーツ交流フットサル大会

一月三日(月)、八日(土)の両日、第二回スポーツ交流フットサル大会がミズノフットサルプラザ千住およびミズノフットサルプラザ千住大橋にて開催され、昨年より四チーム多い三二チーム約三八〇名が参加しました。三日の予選リーグは三二チームを四チーム毎八グループに分けて総当たり戦を行い、各グループの上位二チーム計一六チームが決勝トーナメントへ駒を進めました。八日の決勝トーナメントは一点を争う好ゲームが続ぎ、決勝にはアラマークユニフォームサービスジャパンとエームサービスが勝ち上がりました。

決勝戦に相応しい白熱した一戦は、エームサービスが三対一でアラマークユニフォームサービスを下し、見事優勝を果たしました。また三位決定戦はJA三井リースがPK戦の末、三井物産エレクトロニクスを下しました。前回大会に引き続き、今大会も女性の参加が目立ちましたが、今年には日本フットサル連盟主催の大会として初の女性を対象とした全国大会が行われることが決定しており、ますますプレーヤーの裾野が広がっていくものと思われま。本大会は今回が二回目という歴史の浅い大会ですが、皆でフットサルを楽しむ場であるとともに、三栄会の交流を深める場として大きく育てていくことができれば幸いです。(JA三井リース・末木)

東京三栄会第二回スポーツ交流ボウリング大会

団体戦は接戦を制したスポルトが優勝！

昨年一月二日に田町ハイレーンにおいて、東京三栄会第三回スポーツ交流ボウリング大会が、参加社二三社、二二チーム、総勢八八名のもと熱のこもったゲームが繰り広げられました。一時間半あまりの熱戦の結果、団体優勝は昨年まで日本ブランドウィックとして八連勝中であったスポルトが九連勝を果たし、準優勝は三井物産トレードサービス、三位はエニエでした。また、男子個人では、男子ハイゲーム二二二ピンを出したスポルトの松本英之さんが優勝、女子ではアラマークユニフォームサービスジャパンの岩田典子さんが優勝を飾り、女子ハイゲームは一五九ピンの三井物産ビジネスサポートの平塚明日香さんでした。



男子1位の松本英之さん



女子1位の岩田典子さん



盲導犬募金の様子

なお、ゲーム終了後、三栄会豊島共通世話人の盲導犬募金を含む社会貢献活動への取り組みについての紹介と挨拶に引き続き、徳田スポーツ交流委員長の挨拶、乾杯の発声の後、表彰式を兼ねた懇親会が賑やかに行われました。今回は、文化交流委員より盲導犬募金の呼びかけがあ

り、会場で行われた募金活動では多くの参加者が盲導犬育成の趣旨に賛同し、一八、七〇〇円のあたたかい支援が集まりました。また、各社が持ち寄った協賛品の抽選会では、抽選券を片手に多くの参加者が一喜一憂していました。そして、毎年恒例となっているボウリ

ングカラボーリング争奪戦では、今回、景品を提供していただいたスポルトの藤澤社長と今年も盛況のうちに終了しました。(中央ビルト工業・稲村)



徳田委員長の挨拶

「今、何かができる」をテーマに、工夫凝らした企画でグループの結束を確認

第16回 サンエイ・サマー・フェスタ開催



香川会長の挨拶

昨年も三栄会主催の「サンエイ・サマー・フェスタ」が、三井物産本店の地下一階で八月二日に開催されました。今回は、「納涼フェスティバル」から数えて一六回目の開催となります。今回のテーマは、「今、何かができる」



ゲームタイム風景

」です。

参加者の皆さんには、記念品として今回もエコに貢献できればという思いからマイ箸を用意いたしました。日本人が一年間に使う割り箸約二四〇億膳。一人あたりですと約二〇〇膳にもなるそうです。箸袋に「SAN E I K A I」のロゴを入れておしゃな箸です。ぜひ活用してください。

六時三〇分過ぎ、司会者がサマー・フェスタの開会を宣言、いよいよスタートです。三栄会の活動が分かりやすく納められているビデオの放映が続いて、東京三栄会香川会長の挨拶が行われました。オリンピックでの日本の活躍を披露されるなど全体が和んだ雰囲気の中で、三栄会設立時の様子から現在の状況などを分かりやすく説明していただきました



盛り上がっている会場風景

た。

そのまま乾杯へと移り、懇談の時間に突入。今年もアサヒビールから美味しい生ビールを提供いただきました。たくさん飲めると、鶏肉のロース煮から季節のフルーツにいたるまで、バラエティーにとんだお料理が並びました。懇談の中、社名ビンゴの説明が始まると、受付の時には緊張気味だった参加者の皆さんが、目と目があつた瞬間、笑顔で名刺を交換するようになっていました。グループのつながりはいいですね。初対面でも気軽に話をする事ができ、会場を歩いているうちに、何度も挨拶を交わすようになっていました。同じグループであるという安心感、これですね。これが大切なんです。懇談が進むなか、エントリールした

会社が持ち時間二分で自社を紹介する企業ビークールのスタートです。ボイスパーカッションを取り入れる企業もあり、とても盛り上がりました。恥ずかしながらボイスパーカッションをナマで聞いたのは初めてでした。よかったですよ。企業ビークールの興奮も冷めやらないうちにゲームタイムに突入です。社名ビンゴに続いてムカデじゃんけんが行われました。

企業ビークールの参加者、ゲームの勝者全員には、五万円相当のパソコンをはじめとし一万円の商品券など豪華景品が送られました。ゲームの興奮が冷めやらないなか、BGMで流れていたハワイアン風のポリネシアが少し大きくなり、本日のサブライズゲスト、フラダンスを通じてヒーリングリラクゼーションを行う「フラ ハウオリ」の皆さんが登場

る企業ビークールのスタートです。ボイスパーカッションを取り入れる企業もあり、とても盛り上がりました。恥ずかしながらボイスパーカッションをナマで聞いたのは初めてでした。よかったですよ。企業ビークールの興奮も冷めやらないうちにゲームタイムに突入です。社名ビンゴに続いてムカデじゃんけんが行われました。



フラ ハウオリの皆さん

「ザ・フクラウ・ソング」によるフラダンスが披露され、参加者の皆さんがフラダンスを通じてのリラクゼーションにチャレンジしました。わずかな時間のレクチャーでしたが、最後はみんなが曲に合わせてダンスで、身も心も癒された気分になりました。「フラ」とはハワイ語で「踊り」という意味。本来は、フラダンスとはいわず「フラ」と言うそうです。

最後になりましたが、多くの賞品を提供いただいた会員企業の皆さん、昨年企画、運営にご尽力いただいた(株)エニの皆さん、そして、事務局の皆さん、広報委員の皆さん本当にありがとうございました。今年もまたお会いしましょう。
(広報委員 三井物産フィナンシャルサービス 石河)

